

各 位

東京都港区赤坂9-7-1
株式会社マネースクウェアHD
代表取締役社長 相葉 斉
(東証第一部 コード番号: 8728)
問合せ先 総務・IR部 ゼネラルマネージャー
広報/IRチーム長 西田 大助
電話 03-3470-5077(代表)
<http://www.m2hd.co.jp>

平成26年10月度 月次概況(速報)に関するお知らせ

平成26年10月度の当社グループの月次概況(連結ベース)を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び預り資産残高は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

	平成26年3月期											
	平成25年									平成26年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	770	648	510	392	312	326	270	328	401	474	366	406
顧客口座数 (単位:口座)	56,901	58,013	58,821	59,702	60,528	61,332	62,169	62,898	63,728	65,013	66,498	67,718
預り資産残高 (単位:百万円)	43,422	45,300	46,207	47,293	47,621	48,422	48,858	49,199	50,312	51,134	51,812	52,524

	平成27年3月期											
	平成26年									平成27年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	277	264	229	254	258	428	623					
顧客口座数 (単位:口座)	68,864	70,173	71,196	72,449	73,449	74,670	76,154					
預り資産残高 (単位:百万円)	52,891	52,958	53,278	53,676	54,304	54,877	55,341					

- (注) 1. 営業収益は各月毎の実績数値であります。
2. 顧客口座数及び預り資産残高は各月末時点の口座数及び残高であります。
3. 当社グループは平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、吸収分割を実施した平成26年10月1日以前の平成26年4-9月の各連結子会社の営業収益等は少額であるため、上記は単体での数値を記載しております。なお、平成26年10月より連結での月次営業収益になります。

【10月度の概況】

109円台半ばからスタートした米ドルは、スタートして直ぐ110円台を記録するも、日本政府要人による円安牽制発言や米国9月のFOMC議事録での米ドル高への牽制的な言及、さらには、世界景気の減速懸念等を背景にしたリスク回避の動きの強まり等から月央にかけて105円台前半まで円高米ドル安に推移いたしました。その後、良好な米企業決算や景気指標の発表、GPIFの国内株運用比率引き上げ報道を受けた株高等を手掛かりにリスク回避の動きを和らげる展開で推移するも、FRBが29日のFOMCで量的緩和を終了・雇用情勢に対する判断を上方修正する一方で、日銀が31日の金融政策決定会合で予想外の追加金融緩和に踏み切る等、日米の金融政策の方向性の違いが一段と鮮明になったことを受けて、月末には112円台まで急ピッチな円安米ドル高が進行し、越月いたしました。

当社においては、今月も順調に顧客口座を獲得することができ、前月度から1,484口座増加の76,154口座(前年同月比22.5%増、前月比2.0%増)となりました。預り資産残高は55,341百万円(前年同月比13.3%増、前月比0.8%増)と、順調に拡大いたしました。営業収益に関しては、9月から取扱いを開始したトルコリラ/円の訴求が徐々に顧客に浸透したことや、9月度と同様に終始各通貨ペアともに活発な値動きが見受けられ、ボラティリティや総推移が上昇したところに、高水準で推移していた預り資産残高や注文指値量・ポジション量がそのままヒットする形となり、623百万円(前年同月比130.9%増、前月比45.6%増)と、昨年5月度以来の600百万円台を回復いたしました。

以上